

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 28 年度第 1 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 28 年 5 月 6 日 (金)  
13 時 30 分から 17 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 3 号館 3 階 320 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 3 名  
オブザーバー 10 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 北 和之  
理事 高橋 幸弘  
理事 瀧上 豊  
理事 田中 賢治  
理事 西 弘嗣  
理事 浜野 洋三  
理事 原田 尚美  
理事 日比谷 紀之  
理事 古村 孝志  
理事 道林 克禎  
理事 渡邊 誠一郎  
監事 北里 洋  
監事 鈴木 善和  
監事 松浦 充宏

## 6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 佐々木 晶  
宇宙惑星科学セクション幹事 吉川 顕正  
大気水圏科学セクションプレジデント 中島 映至  
大気水圏科学セクション幹事 川合 義美  
地球人間圏科学セクションプレジデント 氷見山 幸夫  
地球人間圏科学セクションバイスプレジデント 春山 成子  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治  
学協会長会議 日比谷 紀之  
広報普及委員長 田近 英一  
2017年大会国内準備タスクフォース議長 末廣 潔

午後 13 時 30 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、理事会が成立することを宣言した。インターネット電話 **Skype** を利用し、遠隔地から参加する渡邊誠一郎理事、佐々木晶セクションプレジデント、大谷栄治セクションプレジデントが審議に確実に参加できることを互いに確認した。

今回から、前回議事録を資料の最初に付けることを確認した。

## 7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件（古村孝志理事）

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

第 2 号議案 委員会委員の承認の件（古村孝志理事）

グローバル戦略委員会委員として、西弘嗣会員を追記の上、資料の通り承認した。

第 3 号議案 総会議事および資料の承認（平成 27 年度決算および事業報告）

古村理事より事業報告についての説明があり、これを承認した。

北理事より決算についての説明があり、これを社員総会に提出することを承認した。

これらを含め、総会資料を承認した。

第 4 号議案 その他

(1) (福島放射能調査依頼承認の件) (北和之理事)

北理事より提案があり福島放射能調査依頼の申請について審議した結果、依頼書の使用用途および使用計画の説明を加えたうえで今後メールにて継続審議とすることが確認され

た。

(2) (熊本地震災害義援金募金活動実施について) (西弘嗣理事)

西財務副委員長から提案があり、2016年連合大会において熊本地震災害義援金募金活動を実施することが承認された。

(3) (京大火山研究センター支援依頼承認の件)

古村理事より、文部科学大臣宛の京大火山研究センターの支援依頼文書の発出について説明があり、審議の結果、承認された。

## 8. 報告事項

(1) 津田敏隆代表理事職務報告

水文関係学協会から届いた代議員選挙に対する要望書について津田代表理事より説明があった。水文関係学会から代議員が選ばれなかった原因に関して議論が行われた。低い投票率が要因なのか等、選挙結果の分析方法を含め、今後必要と考えられる選挙における改善案が議論された。学協会長会議を有効に活用して、理事会との意見交換を活発にするなど、各関連学会からバランス良く意見を吸い上げるといった仕組みを考えることも改善策の一つになるのではないかとといった提案もあった。この件については、津田代表理事より、学協会長会議で団体会員の規則変更の説明とともに説明する旨報告があった。

(2) 川幡穂高理事 (ジャーナル担当) 職務報告

科学研究費助成事業の中間評価についての説明があった。この二年間でPEPSが行ってきた活動に関しての説明があり、EGU出張においてJpGU展示ブースでは「2017年AGU&JpGU Joint Meeting」開催について良い反応が得られたとの報告があった。インパクト・ファクター(IF)の世界的な需要について説明があった。THOMSON REUTERSの紹介とPEPS表彰制度に関する報告があった。

(3) 木村学理事 (グローバル戦略担当) 職務報告

前回理事会(＃6 03/10/2016)以降の活動状況と活動方針の報告があった。国際化に向けて2016年大会では、台湾の研究者と会合し意見交換が予定され、2017年大会ではAGUとのジョイント開催に向けて準備を行っているとの報告があった。

(4) 中村正人理事 (顕彰担当) 職務報告

顕彰担当理事より現状について報告があった。

(5) 古村孝志理事 (総務担当) 職務報告

前回理事会以降に連合が承認した協賛・後援、発行したサポートレターについて報告があった。

(6) 北和之理事報告（財務担当）職務報告

特定費用準備資金として、地球惑星科学に関わる外国学協会との連携推進のための特定費用準備資金および地球惑星科学振興西田賞の資金化が了承された。

(7) 浜野洋三理事（大会運営担当）職務報告

浜野理事より、2016年大会の準備状況についての報告があった。今大会から寄附にご協力いただいた方が利用できるドネーションサロンを設置することが紹介された。

熊本地震の緊急セッション開催について説明があった。緊急セッションについては国際的にも関心が高いと考えられる為、日本語から英語への同時通訳を行うことが報告された。

2017年大会では、ノーベル賞受賞者の梶田隆章先生に JpGU-AGU Joint meeting において基調講演を行っていただけるとの報告があった。候補日としては20日の土曜日または21日日曜日で梶田先生の御都合を伺うことが報告された。

(8) JpGU2017年大会準備タスクフォース報告

末廣TF主査より、前回第6回理事会(03/10/2016)以降の活動状況と活動方針について報告があった。現在、TF、広報普及委員会、事務局で検討中の2017年 JpGU-AGU Joint Meeting ロゴ候補デザインの紹介があった。

2016年、2017年大会のAGUとのジョイント事業および関連イベント準備について進捗状況が報告された。

特に2017年大会についてはAGUとJpGUの合同企画の為、円滑な連携が求められるが、梶田先生の基調講演の提案についても快諾をいただいているなど、順調に準備を進めているとの報告があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(17時00分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成28年5月6日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第1回理事会

出席理事                      津田                      敏隆                      印

出席理事                      川幡                      穂高                      印

出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	原田	尚美	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印